

この記事は接着剤新聞の
転載許諾を受けています。

非粘着処理技術を開発 凹凸加工が不要

トシコ

表面改質の受託加工を手がけるトシコは、表面への凹凸加工が不要な非

粘着コーティング技術「トシカルS U N A I 200コーティング」を開発し、受託加工を開始した。

同社の従来の非粘着技術は、対象基材の表面に凹凸を作り、凹部に非粘着性に優れた成分を埋め込むことで、効果を発揮させていた。一方で、凹凸がつかことや加工工程で基材が受けるダメージを嫌い、採用を見合わせるケースがあった。

新技術は、コーティング処理により対象基材に優れた非粘着性能を付与でき、接着剤や粘着テープ、ラベル・シール、未

加硫ゴムなどを基材からきれいに剥がすことができる。また、加工工程における基材へのストレスを低減し、基材の反りや歪みも発生しにくいようにした。

コーティングの厚みは10 μ m以下と薄膜で、加工前後の寸法の変化が少ない。PFOSやPFOAといった環境負荷が懸念される有機ふっ素化合物を含まず、EUの化学物質規制であるROHS指令やREACH規則にも対応するなど、環境に配慮している。

同社は、新技術の特徴を活かして輸送機器分野を中心に提案を進め、寸法精度の高い製品の組立に使用される治工具や、自動組立ラインなどでの採用を目指す。